

令和3年11月11日

エネルギー消費性能計算プログラムにおける更新予定の内容

現行バージョンからの変更点は、次の通りです。

●Ver3.1.0→Ver3.1.1（令和3年11月11日）●

<外皮>

1. 外皮性能の評価方法に「当該住戸の外皮面積を用いず外皮性能を評価する（ここで計算）」を選択した場合の、下記の外皮仕様の入力の下限値を0.001から0に変更しました。
 - 屋根または天井の熱橋の線熱貫流率
 - 壁の熱橋の線熱貫流率
 - 床の熱橋の線熱貫流率
 - 屋根または天井と壁の熱橋の線熱貫流率
 - 壁と壁の熱橋の線熱貫流率
 - 壁と床の熱橋の線熱貫流率
2. ヘルプボタンを押した際の遷移先を入力ガイドに変更しました。
3. 地域の区分に「8地域」を選択し、床下空間を経由して外気を導入する換気方式の利用において「通年利用する」とした場合に、計算できない不備を修正しました。

●Ver3.0.0→Ver3.1.0（令和3年10月1日）●

<給湯>

4. 熱源機の種類に「電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯温水暖房機（暖房部：ガス | 給湯部：電気ヒートポンプ・ガス）」を選択し、電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機の指定において「品番を指定しない（パラメータを入力する）」とした場合に、暖房設備の設計一次エネルギー消費量が正しく計算されない不備を修正しました。